

北九州市立菊陵中学校
学校だより
3号
校長 上 赤 義 人

学校教育目標
生徒一人一人の個性や伸長を図り、
徳・知・体の調和のとれた、
感謝の心をもつ自主した生徒の育成

長い休校期間となりましたが、こんな時こそ…

生徒の皆さんに考えて 行動してほしいこと～感謝と自立の心をもって～

感謝と自立は、本年度の学校教育目標にも掲げています。(上部を見てください。)

まず、感謝についてです。前号(学校だより2号)でもお伝えしましたが、私たち一人一人は、多くの人に支えられて生活しています。目の前にいる人だけではなく、今まで一度もあったことのない人にも支えられているのです。そのことに気づけば、自然と「ありがとう」という言葉が出てきます。そのことに気づくことが大切です。この休校期間中に、みなさんは何回、そのことに気づくことができましたか。日常生活の中で、今までは当たり前だったことが(学校に行き、授業を受け、友だちと話し、部活をする等)、今はそうではなくなっている時だからこそ、しっかりと考えて気付いてほしいのです。

あ(当たり前のことにも感謝しよう)

い(立派な感謝の言葉が言える人になろう)

か(頑張りを支えてくれた人に感謝しよう)

と(特別な日だけでなく、毎日何かに感謝できる人になろう)

う(うれしい時こそ感謝の心をもとう)



次に、自立です。自立とは何か考えたことがありますか。朝は自分で起きる、学校の準備は自分でする、自分で進んで宿題をする、自分で片づける…。おうちの人に言われなくても、こういった生活習慣的なことが自分でできる、これだけを自立と考えていませんか。もちろんこれらも大切な自立です。

ただ、皆さんにはこれだけではなく、自分がやりたいことを、自分で見つけて、自分でどんどんやっていくという、自己実現力(=考動)としての自立です。「自分がやりたいこと」を「自分で見つける」のです。おうちの人や周りの人がやって欲しいことではありません。自分の人生を自分で展開するということができる人になってほしいです。

自分がやりたいことは何なのか。それに向かって何をしているのか。やりたいことがなければ見つけようと何かしているのか。等と、しっかりと自分自身を見つめなおしてみてください。学校・塾・部活動等があり、外出することも多くあれば、これらについてじっくりと考えることも難しいかもしれません。

しかし、今は、それができる時なのではないでしょうか。自分自身と語り合おう。それができれば、生活習慣的なことも自分でできるようになるはずで、挨拶ができなければ夢をかなえることができない、とわかったとき挨拶ができるようになります。片づけができなければ目標を達成できない、とわかったとき片づけができるようになります。

じ(自分のことは自分でしょう)

い(リアルな現実の中でも夢をもとう)

つ(積み上げていこう夢や目標に向かって)



保護者・地域の皆様へ

例年なら、入学式・PTA総会・部活動保護者会等や地域総会・連絡会等で、保護者ならび地域の皆様にお会いし、お話することができたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の中ですので、残念です。学校再開の折は、様々な機会にお話ができればと考えています。

また、保護者の皆様には入学手続き・教科書配付等に際して、お忙しい中ご来校いただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後とも、本校の教育活動に、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

なお、学校からの情報については、学校HPや一斉メール(いっせいくん)からも発信しています。ご不明な点があれば、お電話ください。

最後になりましたが、お子様、保護者の方、地域の方々そしてご家族の方々も、どうぞご自愛ください。